



福祉出前講座
～高齢者の気持ちに寄り添うために～

※写真は、富家小学校(備中町)での福祉出前講座の様子。詳細は6ページに掲載。

ボランティア研修会…2～3頁

赤い羽根共同募金・歳末募金等…4～5頁

地域福祉活動報告…6頁

私の町のふくし人 Vol.22…7頁

お知らせ…8～10頁

寄附者一覧…11～12頁

ボランティア研修会

1/17

テーマ『豪雨災害の経験を経て～みんなの取り組みと今後～』

令和元年度の研修会は、平成30年7月豪雨災害の経験から地域の皆さんが取り組んできた防災に関する活動等について振り返り、防災意識の高揚を図るために開催し、高梁市ボランティアセンターの登録ボランティアや民生委員児童委員など約250人が参加されました。

豆知識 1月17日は「防災とボランティアの日」です。これは、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災の際に多くの方がボランティア活動に参加されたことで、災害時のボランティア活動や普段からの自発的な防災活動が重要であると認識されたことから設けられています。

全国各地のボランティアセンターでの災害支援の経験から、単に住まいだけを元通りにする復旧を目的にするのではなく、元々の地域性住民の生活環境に注目し、日々変化するニーズに柔軟に寄り添いながら、それぞれの日常生活の質を高めていくことが最も重要だと話されました。

また、男性のイメージが強いボランティアや避難所の支援については『きめ細やかな女性の視点』がとても大切であることや、平時からボランティア等の外部支援を受けた際の対応を想定しておくこと(受援力を高めること)が地域の取組みとして重要と話されました。

基調 講演

地元の強みと弱み — 災害支援の現場から —

社会福祉法人東海市社会福祉協議会
地域福祉課統括主任



宝達 真志さん
ほうだう まさし

支援の活用

『受援力』

平時から外部支援を受けた時の対応を想定

地元住民としての優先事項

人間性、地域性、生産性などから

どこを外部支援に任せるのか
任せた時の連携の方法はどうするか

パネルディスカッション

基調講演と実践発表を聞いた会場の皆さんからの質問を中心に討論しました。

A1 出来ることは必ずあります。幅広い年代の方にボランティアをしていただくことで、より多くの方に寄り添うことが出来ます。

地元の方がボランティアに駆けつけてくれた時が一番うれしい。気軽に一步を踏み出してほしい。

A2 まずは、家族や職場の方の安否確認をしました。

いち早く地域に出向き、状況把握に努めました。

Q1 歳を取ってボランティアする自信がないけど、私でもできることってあるの？

Q2 災害が起こったときに一番初めに行ったことは？

北山町内会自主防災会の活動について

北山町内会自主防災会
避難誘導・災害時援護者部長



角銅 勇二さん

落合町の北山町内会は、山の傾斜地にあることや池が3つあり大雨の際には決壊の恐れがあることなどの危機感から平成30年4月に自主防災会を設立されています。

3つの部の内『避難誘導・災害時援護者部』の役割として、日常的に町内会の見守りを行っている福祉委員が関わりを持つことで、スムーズな避難誘導や要援護者等の把握ができるよう工夫されています。

また、平成30年7月豪雨の際の自主防災会の動きで気づいた反省点を活かし、2度の防災訓練を実施されています。



災害ボランティア活動を経験して

災害登録ボランティア



谷 綾さん

平成30年7月豪雨災害で職場が被災したことをきっかけに、市内外で始めたボランティア活動の経験から感じたことについて発表されました。

1回の活動では思ったように作業が進まず、申し訳なさを感じることがあったようですが、被災地の方の「ありがとう」の声を聞くと、「被災された方にとっては、手を差し伸べてくれる人がいると感じてもらおうきっかけにもなっているのでは、とても大切なことだと気づいた」
「今後も、困った時にはお互いさまで支えあえるよう、ボランティア活動を通じていきたい」と話されました。



災害ボランティアセンター設置・運営訓練 （瀬戸内市内の実践報告）

社会福祉法人
瀬戸内市社会福祉協議会
総務福祉課主事



山本 佳和さん

瀬戸内市社協が行っている災害ボランティアセンター設置・運営訓練について発表されました。

訓練には社協職員だけではなく、民生委員児童委員や地区社協関係者等も参加し、ボランティアセンター役・被災者役・ボランティア役に分かれ、有事の際を想定して実施されています。

訓練を行うことで、新たな課題や気づきを全体で共有することができ、そこからマニュアルの見直しにも繋がっています。
被災された方に寄り添った支援を行うために、『地域の力』を大切にしたい訓練が重要と話されました。



また、同会場で消防本部の協力による煙道体験や台風19号被災地の復興支援物産展も行われました。



煙道体験



復興支援物産展



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力いただきありがとうございました

歳末たすけあい募金 実績報告

募金区分	募金額(円)
戸別募金	2,130,955
個人募金	10,119
その他の募金	71,829
合計	2,212,903

今年度も皆さまからお寄せいただきました募金は、在宅で暮らしておられる重度の要介護者や難病者など258名の方へ慰問金としてお届けしました。
また、年末年始に援助活動に携わるや福祉ボランティア団体(10団体)へ活動費を助成しました。



赤い羽根共同募金 実績報告

募金区分	募金額(円)
戸別募金	3,746,360
街頭募金	80,714
法人募金	684,800
学校募金	28,739
職域募金	616,545
イベント募金	181,834
個人募金	8,401
その他の募金	207,743
合計	5,555,136

皆さまのあたたかいご協力ありがとうございました。
寄せられました募金は、令和2年度に各地区社協や民間福祉施設等に配分されます。
皆さまのお住まいの地域で幅広く地域福祉の推進に役立てさせていただきます。

～赤い羽根共同募金は、地域の安全・安心な暮らしを住民と共につくる活動を応援します～
令和2年度「赤い羽根 まちづくり福祉活動助成事業」の助成団体を募集します!



地域の安全・安心な暮らしを住民とともにつくる活動

☆助成対象活動

自主防犯・自主防災活動のために年間を通じて必要なパトロール用資材およびユニフォームなどの整備

☆助成対象団体

高梁市内において、原則1年以上の継続した活動が見込めること。また、団体等の運営が住民を主体とした組織で、自主性、自立性を有し、事業計画および会計状況が明らかであること。

☆助成金額 1団体あたり10万円以内

☆実施期間 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで



住民相互のふれあいの拠点づくりに積極的に取り組む活動

☆助成対象活動

年間を通じて12回以上、地区社会福祉協議会の範囲内において定期的に地域の方々の居場所づくり、交流、情報交換などを目的として開催する活動拠点において、声かけ見守り活動などの社会的な孤立の防止を図るためのふれあい活動

☆助成対象団体 地区社会福祉協議会

☆助成金額 1地区社会福祉協議会あたり6万円を上限とし、1ふれあい拠点あたり2万円以内とする。

☆実施期間 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

○申請期間 令和2年4月1日～5月31日まで

※この助成は予算の範囲内で実施します。

申請書は社協事務所へ備え付けていますが、市社協ホームページからもダウンロードできます。

詳細については、気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先

相談支援課 ☎22-7243
川上支所 ☎48-9770

有漢支所 ☎57-3218
備中支所 ☎45-3131

成羽支所 ☎42-2005

歳末たすけあい募金で広がる地域の

絆



新たな年を迎える時期に、地域で安心して暮らすことができるよう、次の福祉・ボランティア団体が歳末たすけあい募金の助成を受け、友愛訪問活動・慰問・交流事業を行いました。

♥高齢者を対象とした歳末友愛訪問



★宇治婦人会

4団体



★備中町ヘルスボランティア連絡会



★川上地区歳末友愛訪問ボランティア



★有漢町ボランティアあじさいの会



歳末たすけあい運動として、さまざまな活動に取り組まれました。



★かぐら街道布寄直売所(成羽)

♥施設慰問および交流事業

4団体



★四ツ葉の会(川上)

- ★ラベンダーボランティア(川上)
- ★ひまわりボランティア(川上)



♥障がい者との交流・歳末激励慰問

★高梁市身体障害者福祉協会

2団体



★高梁市手話ボランティアの会



松原地区福祉座談会の様子



市内14地区で福祉座談会を開催

令和2年1月～2月にかけて、地域福祉活動計画の推進および市民の皆さんが福祉課題を把握・共有し、解決に向けた取り組みを行うことを目的に福祉座談会を開催しました。

今年度の福祉座談会では、令和2年4月1日よりサービス内容が改定される事業(関連8～9ページ)の説明を行ったほか、グループに分かれカードゲームを用いたワークショップを行い、地域の中で「助けて」ということの難しさや互助活動の大切さについて理解を深めました。

一町内では手助けが難しい 福祉課題と対応方法(意見抜粋)

- 排泄介助** → 介護保険制度利用の検討
- 入浴介助** → 介護保険制度利用の検討
- 花壇の手入れ** → シルバー人材センター、お助け隊利用の検討
- 手紙の代筆** → シルバー人材センター、お助け隊利用の検討

2/20

福祉出前講座を実施



高梁市立富家小学校

富家小学校3・4年生の児童11名は、加齢に伴う身体的・感覚機能の低下を体験し、高齢者理解を図ることを目的に、高齢者疑似体験と車いす体験を行いました。

高齢者疑似体験では装具を着用し、お金の出し入れや新聞を読むなどの日常生活の動作を体験し、車いす体験では正しい介助の方法や声かけの大切さなどについて理解を深めていました。

体験後児童たちからは、「周りが見えにくい」「体が動きにくく、腰が痛かった」「車いすに乗って段差を降りる時とても怖かった」などの感想がありました。



私の町の
ふくしVOL.
22

M u t s u n o E d a

ふくしとは、

- ふ ぶつう (普段) の
- く 暮らしが
- し 幸せであること。

とされています。

このコーナーでは、そんな福祉のまちづくりのために地域で頑張っておられる方を紹介していきます。



江田睦雄さん

私は、41年間地方公務員として皆さんのお世話になり、平成19年に退職後すぐに民生委員に任命され、現在に至っています。ここでは、有漢地区における民生委員活動を通じた事例を紹介します。

民生委員活動でまず思い出されるのが、地域の現状を把握するため、2年毎に一人暮らし、高齢世帯の一斉調査書綴を作成していましたが、それを一目で地域の様子がわかるようマップ作成を行ったことです。マップは商工会が作成した住宅地図を利用し、それに一人暮らし、高齢者世帯、空屋等を色付けしました。現在は、市包括支援センターの協力のもと、他の情報も加え見守りマップとして福祉委員との交流会等で情報の共有化を図っています。今後はこれに過去の災害情報等を加え、それぞれの地域の防災対策にも活用できればと思っています。

また、以前より民生委員活動として町内の一人暮らしの高齢者を対象に「風ぐるまサロン」を行っています。サロンの内容は、防犯、健康づくり等の講話や健康体操等が主になりますが、その中で特徴的な取り組みを紹介します。

毎年12月には有漢東小学校のご協力をいただき、5、6年生にサロンの企画、進行をすべてお任せしています。内容は自己紹介から始まり歌あり、踊りあり、ゲームあり、合間には飲み物とケーキを

用意し、児童との触れ合いを楽しんでいただいています。昼食は、栄養委員、あじさいの会等のボランティアにより温かい食事を用意していただき一緒に話し合いながら食してその日を終えます。普段子供と話したり、接することの少ないお年寄りにとっては何よりの喜びであり、今後も続けていきたいと考えています。

私たちは地区の民生委員児童委員協議会を毎月開催し、お互いの活動の問題、情報を共有して地域福祉の増進に寄りたいと考えております。少子高齢化の時代に、自助、共助、公助が言われています。地域に住む者がお互いの協力のもと、自然に助け合える地域づくりが出来ればと願っています。



利用料等の改定について

令和2年4月1日(水)～

高梁市寝具洗濯乾燥消毒事業

寝具の衛生管理が困難な高齢者や障害者の寝具の洗濯、乾燥、消毒のサービスを行う事業
実施回数および利用料金を変更します。

実施回数		変更前	→	変更後
		年2回		年1回
利用料金	掛布団	250円	→	300円
	敷布団	200円	→	300円
	肌布団	90円	→	150円
	毛布	60円	→	130円
	計	600円	→	880円



問い合わせ先 地域福祉課 ☎22-7243

介護保険課からのお知らせ

巨瀬デイサービスセンターの閉鎖について

巨瀬デイサービスセンター（巨瀬町 4864-1 巨瀬地域福祉センター内）については、利用者数の減少等に伴い、令和2年3月末日で閉鎖いたします。

なお、巨瀬地域では、住民主体の新たな通いの場が4月からスタートします。

訪問介護事業のサテライト事業所の設置について

現在、本所（高梁総合福祉センター内 向町 21-3）に設置している訪問介護事業所については、西部地域（川上町・備中町）からの訪問介護の要望が多く寄せられている状況に加え、移動時間の短縮や1日当たりの訪問件数の増加を図るため、新たにサテライト事業所を設置します。

- 名称 高梁市社会福祉協議会訪問介護事業所 高梁西サテライト
- 所在地 高梁市川上町地頭 2070 番地 1（川上支所内）
- 開始日 令和2年4月1日(水)
- 実施区域
 - ①高梁市社会福祉協議会訪問介護事業所 旧高梁市、有漢町
 - ②高梁市社会福祉協議会訪問介護事業所 高梁西サテライト 成羽町、川上町、備中町

問い合わせ先 介護保険課 ☎22-7244





福祉サービス (市の委託事業)

高梁市給食サービス事業

調理が困難な高齢者や障がい者の方に、ボランティアの宅配による食事の提供と安否確認を行う事業

1食	変更前 300円	→	変更後 450円
----	-------------	---	--------------------

高梁市ちよっとお助けサービス事業

日常生活を営むのに支障がある一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯の方に、家周りの手入れ等、介護保険サービスにないサービスを行う事業

1時間あたり	変更前 事業費の1割 (84～105円)	→	変更後 100円
--------	----------------------------	---	--------------------

高梁市福祉移送サービス事業

他人の介助がなければ移動することが困難で単独でタクシーその他の公共交通機関を利用するのが困難な高齢者や障がい者の方に、社会参加および生活支援のため自動車で移送する事業

人工透析医療を受けている方の利用料金について、一部区域の見直しを行います。

(一般利用料金については変更ありません)

地域	区域	1回当たり利用料
高梁	本庁区域 (大久保、玉坂、山の上、櫛井を除く) 津川、玉川、落合町阿部 (福地・原田を除く)	750円
	本庁区域 (大久保、玉坂、山の上、櫛井) 松原、高倉、川面、巨瀬、落合町福地・落合町原田	1,250円
	中井、宇治	1,500円
有漢	全域	1,250円
成羽	下原、成羽、日名、佐々木、小泉	1,250円
	吹屋、中野、布寄、坂本	1,500円
川上	地頭、領家	1,500円
	七地、三沢、仁賀、上大竹、下大竹、高山市、高山	1,750円
備中	布瀬、黒鳥、田原	1,500円
	布賀、長谷、平川、湯野、西山	1,750円

《主な見直し地域》

- ・津川・玉川・落合町阿部 (福地・原田を除く) 1,250円 → **750円**
- ・中井・宇治 1,250円 → **1,500円**
- ・成羽町吹屋・中野・布寄 1,250円 → **1,500円**



赤木五郎賞について

令和元年度赤木五郎賞の贈呈式が2月26日、高梁国際ホテルで開催され、福祉分野からは、本会のボランティアセンター登録団体でもある「有漢町ボランティアあじさいの会」が受賞されました。

あじさいの会は、給食サービスの配食ボランティアをはじめ、一人暮らし高齢者等への友愛訪問や福祉施設での清掃・おしめたたみ等、永年にわたりボランティア活動を行われています。

人事異動のお知らせ

職員の人事異動がありましたのでお知らせします。

令和2年1月31日付

【退職】

▼地域福祉課主幹（シルバー人材センター担当）

宮本 健一

令和2年2月3日付

【新規採用】

▼地域福祉課主幹（シルバー人材センター担当）

松本 敦

災害義援金について

2月28日、順正学園ボランティアセンター様から災害義援金をお預かりしました。

この義援金は、令和元年台風第19号の甚大な被害に対し、大学内に設置した募金箱により集められたほか、学生や吉備国際大学シャルム選手による校外募金活動、大学祭の模擬店売り上げによるものです。



なおこの義援金は、中央共同募金会を通じて被災地へ送らせていただきます。

ボランティアセンターからのお知らせ

令和2年度ボランティア登録およびボランティア活動保険について

ボランティアセンターでは、ボランティア団体の最新情報を提供するため、年度ごとに登録申請を行っています。ボランティア団体の皆さんは、登録申請の手続きをお願いいたします。なお、ボランティア登録団体の活動内容等については、市社協ホームページで紹介していますのでご覧ください。

また、今年度のボランティア活動保険の補償期間は、令和2年3月31日までとなります。引き続き4月1日から活動される団体・個人の方は、3月末日までに市社協（地域福祉課・各支所）で保険加入の手続きをお願いします。

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円（限度額）		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
賠償責任補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
	賠償責任保険金（対人・対物共通）		5億円（限度額）		
年間保険料			350円	500円	

お知らせについての問い合わせ先

総務・地域福祉・相談支援課 ☎22-7243

有漢支所 ☎57-3218

成羽支所 ☎42-2005

川上支所 ☎48-9770

備中支所 ☎45-3131

社会福祉協議会へのご寄附

ありがとうございました。

令和2年
1月～2月

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会へ令和2年1月と2月にいただいたご寄附についてお知らせします。
心から感謝申し上げます社会福祉事業に活用させていただきます。
なお、金額等については寄附者の意向によって掲載しています。(敬称略)



【香典・玉串料・御花料返し】

《高梁支会》

- 金一封 高倉町 赤木 清
- 金一封 中井町 (故・秀子様)
- 金一封 中井町 西本 義和
- 金一封 落合町 津内 孝仁
- 金一封 落合町 (故・正志様)
- 金一封 落合町 川上 高志
- 金一封 落合町 (故・清次郎様)
- 金一封 落合町 渡邊 利明
- 金一封 (故・達也様)
- 金一封 中井町 櫻 茂
- 金一封 (故・壽美子様)
- 金一封 新町 石田 均
- 金一封 (故・章雄様)
- 金一封 巨瀬町 島田 勇
- 金一封 (故・春江様)
- 金一封 津川町 田井 博
- 金一封 (故・縫子様)
- 金一封 松原町 坂田 豊子
- 金一封 (故・繁雄様)
- 金一封 中井町 上田 文明
- 金一封 (故・米太郎様)
- 金一封 落合町 逸見 定光
- 金一封 (故・政江様)
- 金一封 松原町 上田 健一
- 金一封 (故・敏夫様)

《高梁地区》

- 金一封 落合町 小見山清志
- 金一封 (故・光男様)
- 金一封 新町 伊達 照子
- 金一封 (故・鑛一様)

《津川地区》

- 金一封 津川町 丸山 良正
- 金一封 (故・君子様)
- 金一封 津川町 田井 博
- 金一封 (故・縫子様)

《巨瀬地区》

- 金一封 巨瀬町 石川 基
- 金一封 (故・貞子様)
- 金一封 巨瀬町 島田 勇
- 金一封 (故・春江様)

《中井地区》

- 金一封 高倉町 赤木 清
- 金一封 (故・秀子様)
- 金一封 中井町 西本 義和
- 金一封 (故・秀子様)
- 金一封 中井町 櫻 茂
- 金一封 (故・壽美子様)
- 金一封 中井町 上田 文明
- 金一封 (故・米太郎様)

《宇治地区》

- 金一封 宇治町 加藤 幹生
- 金一封 (故・マチコ様)
- 金一封 宇治町 福田ミワ枝
- 金一封 (故・清志様)

《松原地区》

- 金一封 松原町 坂田 豊子
- 金一封 (故・繁雄様)

《高倉地区》

- 金一封 下谷町 森岡 孝夫
- 金一封 (故・定子様)

《落合地区》

- 金一封 落合町 津内 孝仁
- 金一封 (故・正志様)
- 金一封 落合町 広兼 武男
- 金一封 (故・トシコ様)
- 金一封 落合町 川上 高志
- 金一封 (故・清次郎様)
- 金一封 落合町 渡邊 利明
- 金一封 (故・達也様)
- 金一封 落合町 逸見 定光
- 金一封 (故・政江様)

《有漢支会》

- 金一封 上有漢 戸田 守
- 金一封 (故・静子様)
- 金一封 上有漢 島田 靖則
- 金一封 (故・登美子様)
- 金一封 有漢 山縣 孝志
- 金一封 (故・梅代様)
- 金一封 有漢 森田 延恵
- 金一封 (故・島木勝己様)

《成羽支会》

- 金一封 成羽 宮本 博
- 金一封 (故・昌恵様)
- 金一封 上日名 藤井 一志
- 金一封 (故・清子様)
- 金一封 下原 土師 剛
- 金一封 (故・トシ子様)
- 金一封 坂本 樋口フサ江
- 金一封 (故・清様)
- 金一封 下原 金政 友子
- 金一封 (故・春夫様)
- 金一封 中野 坂田 嘉穂
- 金一封 (故・愛子様)
- 金一封 成羽 松北 賢治
- 金一封 (故・幸治様)
- 金一封 長地 赤木 宣夫
- 金一封 (故・加多代様)

《川上支会》

- 金一封 高山 佐藤 剛 (故・武之様)
- 金一封 七地 山本 朋範 (故・清明様)
- 金一封 高山 江草 伸生 (故・ツギ子様)
- 金一封 七地 小田上晴夫 (故・綾子様)
- 金一封 臘 数 平松 靖司 (故・美智子様)
- 金一封 地 頭 木村 義隆 (故・百々子様)
- 金一封 七地 山本 早苗 (故・伯志様)
- 金一封 吉木 林 信介 (故・勇夫様)
- 金一封 上大竹 岡崎 光代 (故・篤二様)
- 《備中支会》
- 金一封 布賀 横部 秀明 (故・壽子様)
- 金一封 長屋 赤木 良太 (故・春子様)
- 金一封 東油野 平松 雅雄 (故・爲三郎様)
- 金一封 東油野 竹並 信二 (故・正武様)

《高梁支会》

- 金一封 東油野 長谷川信子 (故・欣也様)
- 金一封 西山 谷奥 孝義 (故・福太郎様)
- 金一封 長屋 江草 克典 (故・益江様)

《一般寄附》

- 金一封 大阪市 難波喜久男 (志として)

《高梁地区》

- 金一封 匿名 (社会奉仕として 第428回、第429回目)

《中井地区》

- 金一封 大阪市 難波喜久男 (志として)

《玉川地区》

- 金一封 玉川町 丸橋 静子 (退院内祝いとして)

《有漢支会》

- 金一封 有漢 守安 幹男 (退院内祝いとして)
- 金一封 有漢 蓮井 清孝 (退院内祝いとして)

《成羽支会》

- 金一封 成羽 宮本八重子 (退院内祝いとして)
- 金一封 有漢 森本 靖恵 (快気祝いとして)

《川上支会》

- 金一封 上大竹 宮崎 正弘 (退院内祝いとして)
- 金一封 上大竹 大山 貞子 (退院内祝いとして)
- 金一封 下大竹 日向 稔 (退院内祝いとして)
- 金一封 七地 三宅 森雄 (退院内祝いとして)
- 金一封 下大竹 川上 寛 (退院内祝いとして)

編集後記

日増しに暖かさが増し、やわらかな日差しが心地よく感じる季節になってきました。さて、今号では、平成30年7月豪雨災害の経験から地域の皆さんが取り組まれた活動等をテーマに開催した『ボランティア研修会』について掲載しています。

地震や大雨、台風などの自然災害が多い日本では、いつ・誰が被災者になるかわかりません。被災地には多くのボランティアが全国から駆け付けていますが、被災地の復興・再建に力を発揮してもらうためには、被災した地域が多様なボランティアを受け入れる環境を整備しておくこと(受援力)も重要とのことでした。

高梁市でも、自主防災会の設立や防災訓練の実施、地域ごとの防災マップ作り等を通じて、災害に強いまちづくりが進められています。災害に限らず、日頃から地域のひとと人の繋がりを築き、たくさんの方と顔なじみになることが大切です。新型コロナウイルスやインフルエンザが世界的に猛威を振るっています。手洗い・咳エチケットに加え、不用意な外出を控え、皆さまにとって穏やかな春になりますようお祈り申し上げます。

(S)



この広報紙は、賛助会員会費および寄附金の一部を活用して発行しています